

【全体概要】

和歌山県で育成された極早生温州「ゆら早生」は、20年ほど前に鹿児島県南薩地域に一部導入されたが、極早生温州の中でも成熟期がやや遅く、鹿児島県の極早生温州の販売戦略と合わなかったため、地域での普及品種に育たなかった。近年、極早生温州は品質重視の傾向が強まり、糖度が高くクエン酸とのバランスの良い「ゆら早生」の市場評価が高まっていることから、再度、地域での普及に向け、技術確立や流通関係者との意見交換・連携により、強みのある品種として小規模ではあるが産地育成につなげる。

新品種・新技術等の概要

- 品種名：極早生温州「ゆら早生」
- 特性
 - ①樹姿は開張性で、樹勢は中程度
 - ②果形は球形に近い
 - ③糖度が高く、食味が良好



「ゆら早生」の樹姿・樹勢

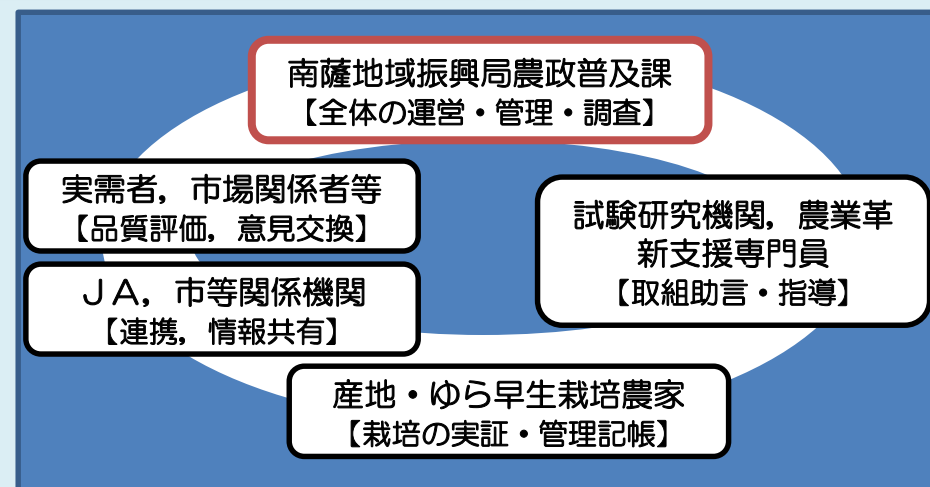


「ゆら早生」の収穫期果実

主な取組内容

- 品種の特性把握
 - ・ 「ゆら早生」の特性把握
→南薩地域の土壌、気象条件における果実品質確認
 - ・ 現地検討会による栽培農家との情報共有
→実証ほ設置による着果・果実肥大・品質等調査の実施と情報の共有
- 実需者・市場関係者との意見交換、先進地研修
 - ・ 実需者とのマッチング活動、情報収集

事業実施の体制図



課題と今後の対応

- 1年目の取組（実績）
 - ・ 品質向上に向けた実証ほ設置
 - ・ 現地検討会の実施（栽培農家への情報提供）
 - ・ 実需者との意見交換（品質評価）
 - ・ 先進地研修
- 2年目の取組（計画）
 - ・ 秀品率向上に向けた実証ほ設置
 - ・ 栽培マニュアルの作成
 - ・ 実需者との意見交換・連携（評価、強み等の共有）